

科目名	体育(1年)	教科	体育	単位数	3
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようにする。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様なスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技での評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、 1列から2列、2列から4列、4列から8列) 男子:球技(ソフトボール)、球技(バスケットボール) 女子:器械運動(マット)、球技(バレーボール)、 陸上(ハードル走) 体づくり運動(持久走・なわとび・前跳び・後ろ跳び・二重跳び・ 交差跳び等)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、 集団行動の意義や重要性を学ぶ。 キャッチボールや守備練習など基礎技術を取得する。 ドリブルやパスなどの基礎技術を習得する。 前転や後転など基礎技術を取得する。 オーバーハンドパスやアンダーハンドパスなど基礎技術を 取得する。 ミニハードルなどを使用し、ハードル間のリズムを取 得し、50mハードル走のタイムの向上を図る。 体作り運動を通して、基礎体力を向上させる。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	自らの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけて練習方法を工夫できる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	体育(2年)	教科	体育	単位数	3
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようになる。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様なスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技の評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、1列から2列、2列から3列、2列から4列、4列から6列、4列から8列。) 男子:陸上競技(走幅跳・走高跳) 球技(サッカー) 女子:陸上競技(リレー) 球技(バスケットボール)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、集団行動の意義や重要性を理解する。 踏み切り前3～4歩からリズムアップし、跳躍する技術を習得し、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶ。 パスやドリブル、シュート、ゲーム等を行い、基礎技術を習得するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを理解する。 バトンパスの練習を行い基礎技術を習得するとともに、次走者のスピードが十分に高まったところでバトンの受け渡しができる技術を高める。 パスやドリブル、シュート、ゲーム等を行い、基礎技術を習得するとともに、空間を埋めるなどの連携した動きを理解する。
体づくり運動	体作り運動を通じて、基礎体力を向上させる。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけて練習方法を工夫できる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	体育(3年)	教科	体育	単位数	2単位
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	3
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようになる。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様のスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技の評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、1列から2列、2列から3列、2列から4列、4列から6列、4列から8列) 前期選択種目(バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトボール・ソフトテニス・ダンス)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、集団行動の意義や重要性を理解する。 前期種目から1種目選択し、自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。 自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。
10月中旬まで: 前期選択種目(バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトボール・ソフトテニス・ダンス)	後期: 等から1種目選択自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。
10月中旬から: 後期選択種目(バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトテニス・ダンス)	自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。
後期選択種目(バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトテニス・ダンス)	後期: 等から1種目選択自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。 自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけてルールを工夫したり練習方法を工夫したりできる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	ニュースポーツ		教科	体育	単位数	2
教材	なし			教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	生涯スポーツについて幅広く学習しようとする意欲のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	生涯にわたって長くスポーツに携われる力を養うとともに、その方法や理念を指導することができるようになる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	アルティメット、ターゲットバードゴルフ、フットサルなどのニュースポーツを行うことや、自ら計画した授業を実践する。
評価方法	各種目の技能試験やレポート試験、授業への取組を総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
アルティメット	フリスビーの基本的な投げ方や取り方を学ぶ。 チームで作戦を考え、得点を奪うことや防ぐことを用紙に記入し、作戦が成功するようにチームの課題に合わせた練習方法を工夫する。
ターゲットバードゴルフ	ターゲットバードゴルフの基本的な打ち方を学ぶ。 自らがコースを作成し、攻略する方法を学ぶ。
フットサル	フットサルの基礎的な技術を学ぶために、班で練習方法を学び、実践する。 チームの課題に合わせたルールを工夫し、試合を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	ルールや練習方法を工夫し、自らやチームの課題の設定ができる。
技能	種目の特性や技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性やルールを理解し、知識を身に付けているか。

科目名	球技スポーツ	教科	体育	単位数	2
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	球技スポーツについて幅広く深く学習しようとする意欲のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール・テニスなどの球技をより高度なレベルより戦略的に実践していく。
評価方法	各種目の技能試験・レポート等の筆記試験、活動の様子から総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
バスケット・サッカー(ゴール型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施
ソフトボール(ベースボール型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施
バドミントン・卓球(ネット型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心をもち、より高い専門性を学ぼうと積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決に向けてルール工夫したり練習方法を工夫したりできる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、より専門的な知識を身に付けている。

科目名	保健	教科	保健体育	単位数	1
教材	①大修館 現代高等保健体育 ②現代高等保健体育ノート		教材費 (予定定価)	①625円 ②885円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	様々な社会の変化に対して、自分自身がよりよく心身の健康を保つにはどうすれば良いのかについて追求し、学習する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・保健ノートを中心に使用して進める。また、教科書のみでなく時事的な問題に対しても焦点をあて学習する。
評価方法	定期考査および活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 現代社会と健康	
健康水準・健康問題	わが国の健康水準について理解する。
生活習慣病とその予防	生活習慣と健康の関係について理解する
食事と健康	食事が健康に及ぼす影響を理解する。
運動と健康	運動と健康の関係について理解する。
休養・睡眠と健康	休養・睡眠が健康に及ぼす影響を理解する。
喫煙と健康	喫煙の危険性と健康の関係について理解する。
飲酒と健康	飲酒の危険性と健康の関係について理解する。
薬物乱用と健康	薬物乱用の危険性と健康の関係について理解する。
感染症の予防・エイズとその予防	感染症やエイズについて理解する。
欲求と適応機制	心と大脳の関係について理解する。
心身相関とストレス・自己実現	心身相関とストレスについて理解する。
交通事故の現状	交通事故について理解する。
応急手当の意義と日常的な応急手当	応急手当の意義と方法を理解する。
心肺蘇生法	心肺蘇生法の意義と方法を理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習している。
思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
技能	個人生活や社会生活における各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

科目名	保健		教科	保健体育	単位数	1
教材	①大修館 現代高等保健体育 ②現代高等保健体育ノート			教材費 (予定定価)	①、②ともに継続使用	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	様々な社会の変化に対して、自分自身がよりよく心身の健康を保つにはどうすれば良いのかというところを追求し、学習をする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・保健ノートを中心に使用して進める。また、教科書のみでなく時事的な問題に対しても焦点をあて学習する。
評価方法	定期考査および活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第2章 生涯を通じる健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度と医療サービスとその活用 医薬品と健康 様々な保健活動や対策	思春期の体と健康について理解する。 性意識と性行動について理解する。 結婚生活について考える。 妊娠・出産について理解する。 家族計画・人工妊娠中絶について理解する。 加齢と健康について理解する。 高齢者のための社会的取り組みについて理解する。 保健制度と医療サービスとその活用について理解する。 医薬品と健康について理解する。 様々な保健活動や対策について理解する。
第3章 社会生活と健康 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 土壌汚染と健康 環境対策と健康 食品衛生活動と健康 働くことと健康	環境問題と健康について理解する。 食品の安全について理解する。 労働災害や職業病について理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習している。
思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
技能	個人生活や社会生活における各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。